



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第23号
令和5年 9月20日(水)
文責 校長 鳥居 純樹

9月も半ばに入り、朝夕は秋らしい風が通るようになりました。日中はまだまだ気温も高く子どもたちも汗をたくさんかきながら運動会に向けて練習に取り組んでいます。スポーツの秋というように運動をするのにいい季節となってきました。運動会の練習で疲れているとは思いますが、十分な睡眠、栄養バランスの取れた食事を摂ることで子どもたちにとって最高の運動会になるようご家庭でもお過ごしください。

関東大震災から 100 年

1923年9月1日午前11:58関東地方にM7.9の大地震があり、死者、行方不明者が約10万5千人、全壊全焼家屋約29万棟という被害が出ました。100年の月日が経ち情報網の発達や地震に対する備えなども高まってはいますが、いつ何時南海トラフが起きるかは予測できるものではありません。

大地震に備えて15日(金)には、本校では、避難訓練を行いました。南海トラフが発生し、津波警報が発表され、校舎内では危険な状況であるという判断で高台にある農芸高校まで避難するという想定で訓練を行いました。

子どもたちは放送を聞き、「おはしも」を守って中庭に避難しました。担当から高台にある農芸高校に避難すること、「おはしも」を守って、農芸高校まで歩くように指示が出され、その指示に従って真剣に農芸高校まで避難することができました。

教室から中庭までの避難時間が約4分、農芸高校までの移動が約17分でした。津波警報から津波が来るまでの時間に逃げるためには、少しでも早く安全な高台に逃げる必要があります。河原田小学校は海から約4km、東日本大震災では、多くの子どもたちが被害に遭った大川小学校も海からの距離は、本校と同じくらいです。

いつ何時災害は起きるかわかりません。災害が起きたときには、訓練時と同じように放送や周りの指示をよく聞き、落ち着いて行動すること命を守ることにつながります。今回の農芸高校への避難訓練では、子どもたちは緊張感をもって避難することができました。



教室から避難経路を通して昇降口前広場で人員確認し、農芸高校まで避難しました。



暑い時期で熱中症等も心配な時期ではありましたが、災害はいつ起きるかわかりません。ご家庭でも避難所を確認したり、連絡方法を検討したりして災害に備える方法を話し合ってみてください。

南海トラフはいつ起きてもおかしくない状況であるといわれています。いつ大地震が起きても優先すべきことは、命を守ることです。自分自身、家族の命が守れるように備えをお願いします。

河原田小学校の現在の校舎は、旧校舎（右画像）の地下に活断層があることがわかり、敷地内で活断層を避けて建てられた校舎です。



修学旅行・自然教室説明会について

二学期は5年生、6年生にとって楽しみにしている宿泊行事、自然教室と修学旅行を計画しています。自然教室は10月18日（水）～19日（金）に少年自然の家で2日間過ごします。修学旅行は、11月21日（火）～22日（水）京都市内に宿泊し、京都市内で2日間学習します。

昨年度は、2つの行事に係り保護者の皆さまにお忙しい中來校していただき、説明会を開いて子どもたちといっしょに説明を聞いていただきました。



昨年の修学旅行（上）自然教室（下）

今年度は、**オンデマンド方式**で説明会を実施し、ご家庭で保護者の皆さんと子どもたちで説明会の画像を見ていただき、準備をすすめていただこうと計画しています。オンデマンド方式の利点としては、何度も期間中繰り返し見ていただき、確認することができることや自分の都合のよい時間に見ていただくことが挙げられます。視聴後は、疑問に感じられたことやわからなかったことについて質問を受け、安心して行事に参加できるように学年で回答していく予定となっています。



今年度初めてこのような形で取り組みますので、課題もあると思います。率直な感想やご意見も聞かせていただき、来年度の取り組みに反映させていきたいと考えています。

配信の時期や視聴期間など詳細は、学年から案内させていただきます。

教育実習始まる！

15日（金）～29日（金）の2週間、本校出身の大学4年生の実習生が教育実習のため、來校しています。

教員の志望者数や採用試験の倍率は年々減少していて教員不足が報道でも取り上げられるほど深刻な問題となっています。

そんな状況の中、教員志望で実習を行うことで教員の魅力、やりがい、働きがいをたくさん見つけてもらい、将来私たちの仲間として働いてもらえることを願っています。

3年A組を中心にして実際に授業をしたり、子どもたちと活動したりしながら小学校教員としての体験を積んでいくよう計画的に指導し、将来の仲間を育てていくように考えています。

実習生には、子どもたちや河原田小学校の職員からたくさんの学びの機会になってほしいと思います。また私たち職員にとっても、実習生の姿から教員を志した初心を思い出し、現在の指導をふりかえる機会にもなると思います。

2週間の実習を精一杯取り組むことで、かけがえのない経験にしてもらうことを期待しています。